



2025(令和 7)年度 和合町 防災訓練実施計画書



和合町自主防災隊

テーマ : 「わが身を守り、みんなで行う地域防災」

日時 : 2025 年11月16日(日) 午前8時～午前11時

場所 : 和合町全域・各部防災倉庫・浜松市立泉小学校

参加者 : 和合町自主防災隊、町民、消防第8分団、中消防署富塚出張所、
浜松リハビリ病院、ボーイスカウト浜松12団、
浜松市(浜松市中区振興課、浜松市危機管理課)

目的 : 南海トラフ巨大地震を想定し、住民一人一人が災害、防災を自分事と考え、
いざという時にどう動くのかを確認するための訓練を行う。

想定 : 11月16日(日)午前 8 時、南海沖を震源とする巨大地震(マグニチュード9、
最大震度7)が発生、市内全域にわたり家屋の倒壊、ライフラインの途絶。

訓練 : 【全域】・・・全町民

- ① 地震発生時に命を守るための行動をとる(シェイクアウト)訓練
- ② 黄色いタオルを玄関先に出す訓練
- ③ 第一次避難場所に避難する訓練
- ④ 緊急避難場所である泉小学校への避難訓練(泉小での訓練に参加の場合)

【各部防災倉庫】・・・自主防災隊

- ① 各部防災倉庫に部隊を立ち上げ、本部・第一次緊急避難場所との連携訓練
- ② 安否確認訓練、簡易トイレ設置訓練


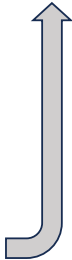
【泉小学校(避難所)】・・・自主防災隊・関係機関

- ① 本部を泉小学校に立ち上げ、部隊との連携訓練
- ② 泉小学校に設置されている FMB(ファーストミッションボックス)を使って
避難所の立ち上げ訓練(中高生のボランティア、一般町民も参加)
- ③ ポンプ隊、第8分団による放水訓練
- ④ ジャッキを使った救出・搬送訓練(ボーイスカウトも参加)
- ⑤ 消防署による AED 使い方のデモ

第1次緊急避難場所と各部隊設置場所

	第1次緊急避難場所							各部隊 設置場所
	第1組	第2組	第3組	第4組	第5組	第6組	第7組	
第1部隊	浜信事務センターの門前	深谷哲氏宅西の駐車場	森永牛乳吉川さん宅前	メデイカル和合の北隣鈴木氏宅前	K美容院南側の道路	同 左	木下ハイツ駐車場	和台公園内 1部 防災倉庫
第2部隊	泉小グラウンド	泉小グラウンド	泉小グラウンド	泉小グラウンド	泉小グラウンド	泉小グラウンド		浜松リハビリテーション病院東側 2部 防災倉庫
第3部隊	市営住宅遊園地	旧もずが谷児童遊園地北側駐車場	高橋さん宅東側ゴミ集積所東駐車場	ガーデンハイツ和合横	金岡禱圭氏宅東側の空地	住岡食品の駐車場北側		馬生会館駐車場下 3部 防災倉庫
第4部隊	丸尾昭司氏宅東側の空地	西脇医院駐車場	サンパレス深谷西側の路上	奥平橋西の広場	青空子供の遊び場	同 左	グランヴィイ和合前の空地	青空子供の遊び場内 4部 防災倉庫
第5部隊	深谷マンション西側駐車場	佐藤内科医院南側	アサヒプラザ前の駐車場	うんえい公園	ハコリバーカリー南のタバコ自動販売機前	同 左	ヴィスタの丘公園	中山公園内 5部 防災倉庫
第6部隊	馬船平公園	同左	同左	同左	同左	同左	同左	ごみ集積場48番横の 6部隊 防災倉庫
第7部隊	かつ治駐車場	長谷川整形第2駐車場	佐々木孝氏宅北のゴミ集積所	しきハイツ和合東側				ごみ集積場33番横の 7部 防災倉庫
第8部隊	松本英夫氏宅北側の道路	和合ベース倉庫西	萬和樹氏宅北側					ロイヤルタウン和合公園内 8部 防災倉庫

2025 防災訓練計画 (2025/11/16)

時間	2. 部隊	4. 町民	3. 第一次緊急避難場所	1. 本部
8:00	災害発生。全町民は、8:00に、シェイクアウト訓練を実施後、安否確認のタオルを玄関先に出す			
8:05	情報班長は、地震発生、避難について、ハンドマイクを使い住民に知らせる。			
8:10	部隊長、部隊長補佐、物資班、情報班、消火班の班員は部隊の防災倉庫に集合。 部担当の自治会3役はデジタル無線機を持って部隊に合流。	住民は第一次避難所に避難を開始 	組長、救護班、避難誘導班は、第一次緊急避難場所に集合	自主防災隊正副隊長、隊長補佐、防災専門官、各部の副部長、専門職、部隊に合流する自治会3役以外の役員は直ちに泉小に集合
8:15	部隊立上げ、各組との連携訓練（携帯電話）		部隊との連携訓練（携帯電話）	本部立ち上げ
8:30	部隊に集合した、部隊長補佐、物資班、情報班、消火班、ボランティアで協力し、各家を回り、安否確認を行う (詳細別紙)		組長、組長補佐、避難誘導班、救護班の自主防災隊役員が中心となり、泉小学校グラウンド（緊急避難場所）まで避難する（詳細別紙） 	(詳細別紙)
9:00				泉小学校グラウンド（緊急避難場所）に到着した避難者をグラウンドで待機させる
9:15	安否確認完了。本部へ報告。			9:15 開会式、自主防災隊隊長のあいさつ、来賓紹介
9:45	簡易トイレ設置訓練			9:30 泉小学校での本日の訓練開始
10:00				・ポンプ隊、第8分団の放水訓練
				・ジャッキを使った救出訓練のデモ
				・簡易担架の作り方、デモ
				・AEDデモ
				・応急処置のやり方
				・FMBを使った避難所設営訓練（体育館）
10:45	訓練終了 部隊撤収。撤収を本部に報告 乾パン・水・アルファーマー配布			10:45 訓練終了、閉会式、自主防災隊隊長のあいさつ、乾パン・水・アルファーマー配布
11:00	解散			解散

各場所の訓練詳細

1. 本部(泉小学校)での訓練

- (1) 集合場所：泉小学校
- (2) 集合する人：自主防災隊隊長（石塚）、副隊長（山本）、隊長補佐（岩瀬）、防災専門官（松山美）、総務（松山義）、自治会相談役(仲田)
 - ① 各部副部長：避難所運営…太田み、牧内
 - ② 情報：宮崎、宮崎、園田（3 役）
 - ③ 消火：永井
 - ④ 避難誘導：中村
 - ⑤ 救護：佐々木、杉浦
 - ⑥ 物資：杉本、冨田
 - ⑦ 専門職：小久保、鈴木、石川、竹ノ内、渡邊、左右都、森、堀越潤、堀越道、浪崎達、浪崎幸
- (3) 訓練：
 - ① 防災対策本部の立ち上げ（体育館入り口）
 - ② FMB（ファーストミッションボックス）を使って避難所立ち上げ訓練
 - ③ 防災対策本部（情報部）と部隊の通信訓練
 - ④ 防災対策本部（避難誘導部）の避難者の把握（組長との連携訓練）
 - ⑤ 防災対策本部（物資部）の配布訓練（カンパン、水、アルファーマ）
 - ⑥ ポンプ隊・第8分団による放水
 - ⑦ 中消防署富塚出張所による AED デモ
 - ⑧ ポンプ隊、ボーイスカウトによる救出（ジャッキを使用）、簡易担架による搬送
 - ⑨ 救護部による応急処置訓練
 - ⑩ ボーイスカウトによる野外テント等の展示

(4) 詳細タイムスケジュール

7：30	本部での訓練に参加する自主防災隊員は体育館に集合 体育館、防災倉庫等のカギを開け、テーブル、椅子、マイク等を準備 ※前日に和合町防災倉庫から、配布用の物資を体育館内に運び込む (水、カンパン、アルファーマ)
8：00	本部の立ち上げ ・体育館入り口にテーブル、椅子をセット、本部、情報部、避難誘導部、救護部を開設 ※避難所受付、避難所は避難所開設訓練として行うのでセットしない

8 : 15	<p>情報部の情報伝達訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部隊の立ち上げ完了の報告を部隊長のデジタル無線で受信 →隊長に報告 ・ 部隊から第一次緊急避難場所の集合人数、泉小学校への避難者の情報をデジタル無線で受信 ・ →避難誘導部長に報告 ・ 部隊から黄色いタオルによる安否確認数の情報をデジタル無線で受信 →隊長に報告（10:00 頃）
9 : 00	<p>避難誘導部訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次緊急避難場所から泉小学校グラウンドに避難してきた人をグラウンドに整列させ、組長は人数を避難誘導部長に報告 ・ 避難誘導部長はそれを集計し、隊長に報告 ※各部隊から一次避難所に集まった人数、泉小学校に避難をした人数はデジタル無線により、情報部経由で本部（避難誘導部長）にあらかじめ報告があるが、実数を確認。 ・ 部隊から黄色いタオルによる安否確認数の情報をデジタル無線で受信 →隊長に報告
9 : 15	<p>開会式（泉小学校への避難の到着が遅れている部組があっても待たない） 運動場にて実施</p>
9 : 30	<p>体育館にて MFB（ファーストミッションボックス）を使った避難所開設訓練。（～10 : 30） 参加者は事前申し込みの方、各部隊組長、避難誘導班長、中高生ボランティア ※当日一般参加の方も OK。</p>
9 : 30	<p>運動場にて、⑥～⑩までの訓練を順次行う （～10 : 30） ※救護班は⑨の救護部の訓練に参加</p>
10 : 45	<p>閉会式 運動場にて実施</p>
11 : 00	<p>物資配布（物資班・専門職→参加者） ※物資部は、本部避難誘導部長から人数を把握、この時間までに配布準備を行う</p>

2.各部隊の訓練

- (1) 集合場所 : 各部隊倉庫
- (2) 集合する人: 部隊長、部隊長補佐、物資班、情報班、消火班の班長・班員、ボランティアの方
部付3役: 1 部中津川、2 部児玉、3 部田原 (代理、専門職)、
4 部大庭、5 部平田、6 部太田も、7 部木下、8 部高須
- (3) 役割: 各部防災倉庫で部隊を立ち上げる。
- (4) 部隊で行う訓練:
 - ① 黄色いタオルによる安否確認を行う
 - ② デジタル無線で本部との通信訓練・携帯電話で組長との通信訓練
 - ③ 仮設トイレ設営訓練

(5) 詳細タイムスケジュール

8:00	頭を守り、命を守る訓練を行うシェイクアウト訓練)
8:05	<ul style="list-style-type: none">・ 安否確認の黄色いタオルを玄関先に出す・ 情報班長は地震発生・避難についてハンドマイクで住民に知らせつつ防災倉庫に向かう・ 「訓練災害発生。安全確認し、黄色いタオルを玄関先に出し、第一次緊急避難場所に集合してください」・ 3役は、デジタル無線と防災倉庫のカギを手に防災倉庫に向かう・ 部隊長、部隊長補佐、物資班、消火班、情報班は防災倉庫に集合。
8:15	<ul style="list-style-type: none">・ 防災倉庫のカギを開け、部隊を立ち上げる (カギは部隊長も持参)・ 倉庫に保管している部隊旗を出し、部隊の立ち上げを本部 (情報部) にデジタル無線で報告。また、組長に、携帯電話で部隊の立ち上げを報告。また、組長から第一次緊急避難所の集合人数、泉小へ向かう人数の報告を受ける
8:30	<ul style="list-style-type: none">・ 防災倉庫から安否確認ボックスを出し、ここに集合した人で手分けをしてボックス内にある住宅地図、ペンを手に黄色いタオルの出ている家をチェックして回り、安否確認を行う (9:30 を目途) → 地図に赤丸を付け、数を部隊長に報告 <p>※安否確認はできるだけ2名で行くことが望ましいですが、集まった人数によっては1人でという事があるかもしれません。</p> <p>※誰がどこを回るのかをあらかじめ話し合い決めておくこと</p>

9：45	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部隊長は安否確認済みの地図を回収し、ボックス内の集計表を用い集計を行い、デジタル無線で、本部に報告をする。 ※集計表、地図は3役が回収し、後日馬生会館に届ける
10：00	<p>防災倉庫にある簡易トイレ、トイレ用テントを出し、設置訓練を行う</p> <p>トイレの設置場所、汚物の処理方法、汚物の保管場所、備品量などを確認する訓練を行いながら、実際の災害時を想定し検討。</p> <p>(凝固剤等は1個のみ使用)</p>
10：45	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災倉庫内を整理し、部隊を撤収 ・ 本部にデジタル無線で報告 ・ 訓練参加者に乾パン、水、アルファーマスを配布
11：00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解散

メモ



3. 第一次緊急避難場所での訓練

- (1) 集合場所：第一次緊急避難場所（地図、表を参照）
- (2) 集合する人：組長、組長補佐、救護班、避難誘導班
- (3) 訓練：

- ① 組長は、第一次緊急避難場所に集まった人に避難判断についての説明を行う。
- ② 集まった人数と第一次緊急避難場所から泉小学校に避難する人の人数を把握し、部隊に携帯電話で情報伝達を行う。（8：30 までに、部隊長から連絡）
- ③ 第一次緊急避難場所から泉小学校に避難する人を防災隊員で誘導する
避難経路は、あらかじめ組長が決めておく。
9:15 までに泉小に到着するよう出発する。
- ④ 組長は泉小学校グラウンドに到着後、人数を再確認し、避難誘導部長に報告
- ⑤ グラウンドで待機してもらい、開会式終了後自由に泉小学校での訓練に参加。

※組長、部隊長間の情報伝達訓練は携帯電話を用いて行いますので、あらかじめお互いの携帯が通じるように番号の交換などをしておく。

(4) 組長説明文

「〇部〇組の組長の〇〇です。本日は、防災訓練にご参加いただきありがとうございます。

この場所は、〇部〇組の第一次緊急避難場所です。

大規模な災害が発生した場合、泉小学校体育館に避難所が開設されますが、避難所には、全町民を収容できるスペースはありません。家屋の倒壊、火災などで自宅に留まることが困難な方、不安な方をのぞいては在宅避難が推奨されています。従って、避難所に行くかどうかは個々の判断で決めていただくこととなります。そして、各自で避難所（泉小学校）に行って頂くこととなります。

但し、ここ、第一次緊急避難場所には、組長、救護班、避難誘導班の皆さんが待機し、避難の相談や誘導、簡易な応急手当、部隊、本部への応援連絡などを行っております。

また、各部の防災倉庫には部隊が立ち上がり、そこを拠点として、住民の支援を行います

本日は訓練として、皆さんと一緒に泉小学校に向かいます。泉小学校では、様々な訓練が用意されており、ご自由にご参加いただけます。」

4. 町民の訓練

(1) 8時の時報と共にシェイクアウト訓練を行う。(サイレン吹鳴なし)

- ・ シェイクアウト訓練とは、地震の時、命を守るための訓練です。頭を隠し、揺れがおさまるまで、机の下などでじっとしていきましょう。

(2) 8時5分、黄色いタオルを玄関先、郵便受けなどの目につくところに出す

- ・ 本日の防災訓練ではこの黄色いタオルを目印に安否確認訓練を行います。
- ・ 避難訓練に参加されない、できない方も、タオルを出す訓練は必ず行って下さい。
- ・ タオルは11時頃までは出したままにしておいてください。訓練の後は、袋に入れ、実際の地震がおこった時にすぐに使える場所に保管しておいてください

(3) 8時15分、第一次緊急避難場所に避難

※各部防災倉庫での訓練に参加する人は、そちらへ集合

(4) 8時30分、第一次緊急避難場所から泉小学校のグラウンドに避難する訓練

第一次緊急避難場所にいる組長等の自主防災隊の人の指示に従ってください。

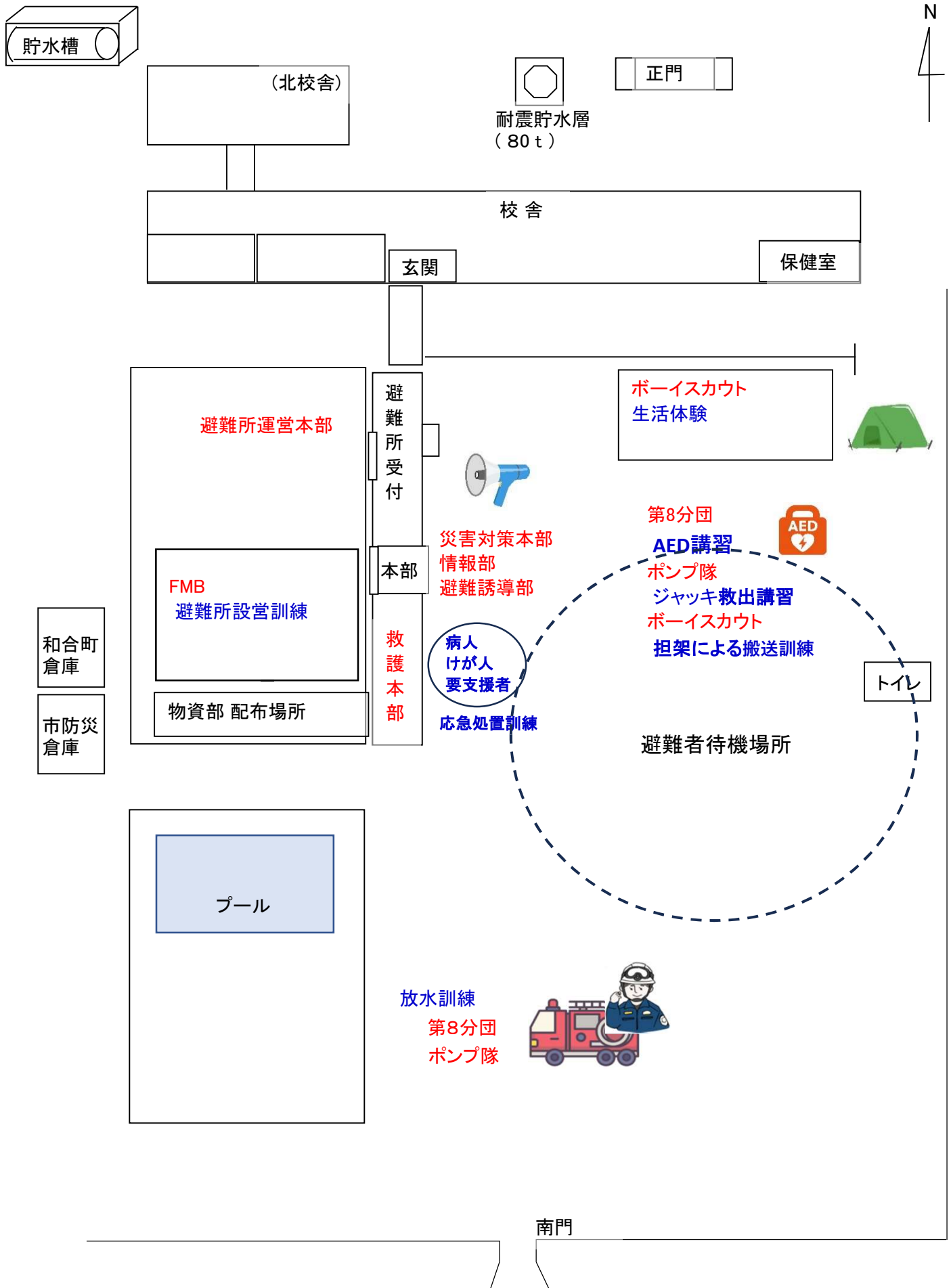
(5) 9時15分～11時、泉小学校グラウンド・体育館での本部訓練に参加

様々な訓練、デモなどが準備されており、自由にご覧いただけます。

防災訓練前後で、各家庭で行うこと

- ・ 自宅の家具の固定はできていますか（自分が寝ている場所に家具が倒れてきませんか）
- ・ ドアや階段に物を置いていませんか（いざという時の逃げ道を確保）
- ・ 非常用の飲料水は用意できていますか（1日3ℓ×7日×家族の人数分）
- ・ それ以外に生活用水も必要です（お風呂に水を貯める習慣をつけてください）
- ・ 第一次緊急避難場所を知っていますか
- ・ 自分で避難が困難だと思われる方、支援者は決まっていますか？
- ・ いざという時の家族の連絡方法は話合っていますか
- ・ 災害時に手に入りにくいもの（常備薬、赤ちゃん用の離乳食や、ミルク、おむつ等）の備蓄は大丈夫ですか？
- ・ ローリングストックの再確認をしましょう（食料品、トiletペーパー、ティッシュ など）

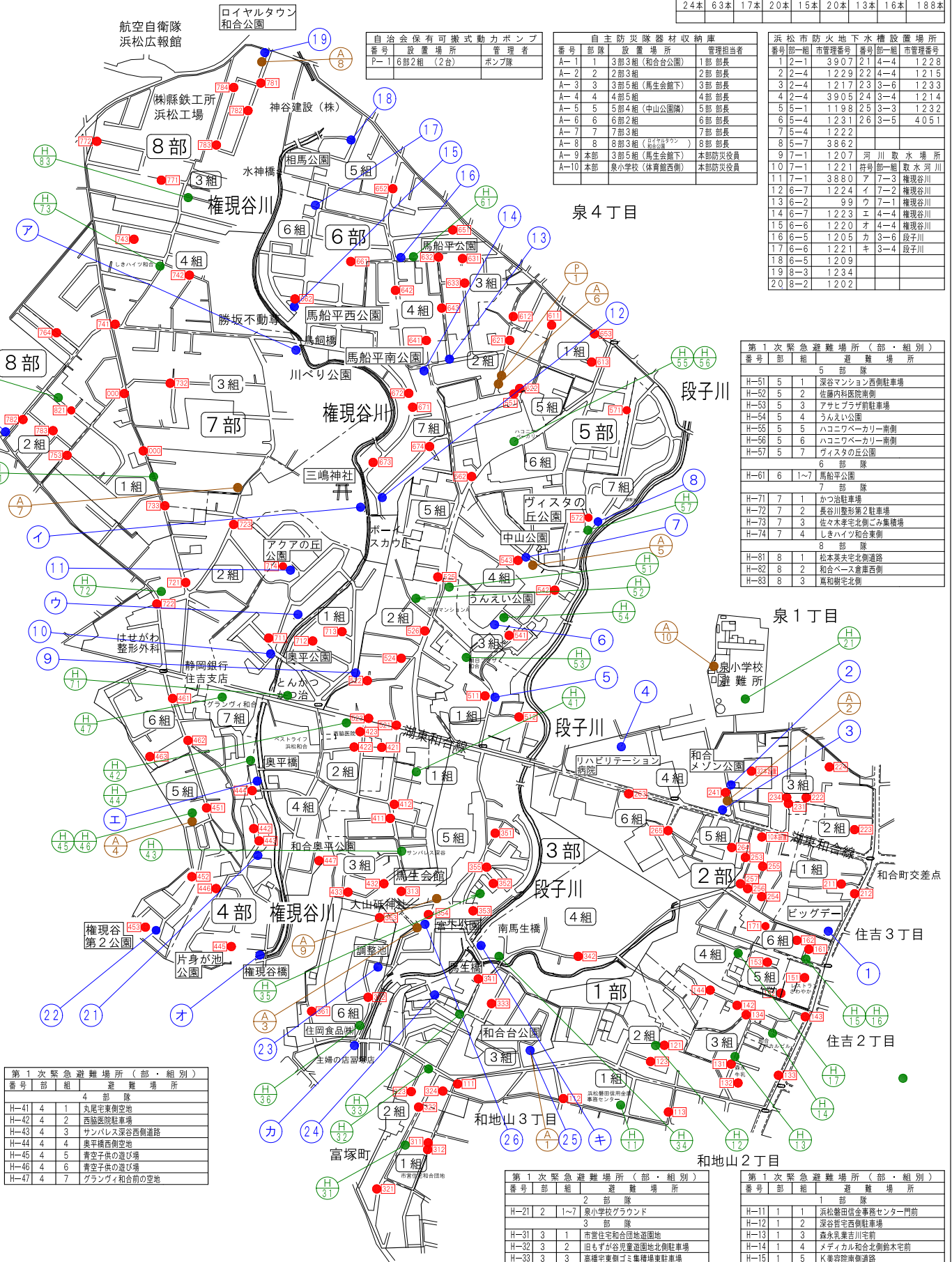
泉小学校 緊急避難場所、避難所レイアウト





和合町防災設備全体図

小型消火器部別設置数									
1部	2部	3部	4部	5部	6部	7部	8部	合計	
24本	63本	17本	20本	15本	20本	13本	16本	188本	



和合町 災害時行動基準

① 地震発生時

震度4 震度5弱 震度5強	中規模地震とされます。地震の揺れがおさまった後、テレビ、ラジオ、防災アプリ等で情報を確認の上、避難するかどうかの判断を自ら行い、避難する場合は、第一次緊急避難場所を経由して泉小学校（緊急避難場所）に避難しましょう。	
震度6弱 震度6強 震度7	地震発生から3秒	姿勢を低くし、頭を守り、命を守る行動をとりましょう
	地震発生から3分	家族の安全を確認 揺れがおさまったら、ドアや、窓を開けて逃げ道を確保。 自宅の様子を確認。（ガラス等でケガをしないように靴を履く） 火の元を確認（火が出ていたら初期消火） 在宅の家族が安全ならば黄色いタオルを玄関先に出してください
	地震発生から30分	テレビ、ラジオ、防災アプリ等で地震の情報を収集 近隣の高齢者や、乳幼児がいる家、また、黄色いタオルが出ていない家には、積極的に声を掛け、ご近所同士で安全を確認してください
	地震発生から3時間	各部の防災倉庫に各部の部隊が、また、泉小学校に災害対策本部が、泉小学校体育館に避難所が開設されます 在宅避難ができないと自ら判断した場合は、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉め、第一次緊急避難場所を経由して、泉小学校に避難をしてください。自分の身の回りの必要な物（非常持ち出し袋）を持って避難しましょう

② 風水害発生時

自治体（浜松市）が発表する警戒レベル別に必要な行動をとりましょう

警戒レベル 3 （高齢者等避難）	高齢者や障がいのある方、妊婦など避難に時間のかかる方は避難を開始。ハザードマップの危険区域付近にいる方も避難準備を整え危険を感じたら自主的に避難。避難所は防災ホットメール等で確認する。
警戒レベル 4 （避難指示）	対象地域の住民全員が速やかに危険な場所から避難。 全員避難。 迷わず避難を開始しましょう。避難所は防災ホットメール等で確認する。 ※命を守るため、警戒レベル4までに避難することが必要です。
警戒レベル 5（緊急安全確保）	すでに災害が発生しているか、発生直前の状態です。

※自主防災隊は必要に応じて馬生会館に避難所を開設する。電話で確認。053-472-8883